

山形県感染症発生情報

第49週(平成21年11月30日～平成21年12月6日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	33	▲	
咽頭結膜熱	2	▽	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	▲	多発中
感染性胃腸炎	97	▲	多発中
水痘	51	△	多発中
手足口病	50	▼	多発中
伝染性紅斑	4	△	
突発性発しん	18	△	
百日咳	1	△	
ヘルパンギーナ	3	△	
流行性耳下腺炎	58	▽	多発中
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	1661	▼	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	0	▽	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	2	▽	
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*2009年1月～)	
	第49週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	3	2	3	172
3類感染症	コレラ	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	3
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	70
	パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症	E型肝炎	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	3
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	9
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	1	9
	アメーバ赤痢	0	0	0	1
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	2
	破傷風	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	7

1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は34.60人で、2週連続減少しており、ピーク時(第47週:45.56人)と比較して約25%減少した。

地区別では、村山・最上地区で大幅に減少しており、置賜地区ではやや減少しているが、庄内地区では再び増加している。

前週に引き続き、村山・庄内・置賜地区では警戒基準値、最上地区では注意報基準値を超えており、警戒が必要である。

園児・小学生・中学生を中心に流行している。衛生研究所で9月以降に分離したインフルエンザウイルスは、全て新型インフルエンザ(A/H1N1)であり、現在流行しているインフルエンザのほとんどは新型インフルエンザによるものと推察される。

2 流行性耳下腺炎が、庄内地区で流行が続いている(定点当たり報告数 鶴岡市:9.5)。

3 手足口病は、置賜地区で定点当たり報告数が多い(定点当たり報告数 長井市:7.0、米沢市:6.5)。患者は3歳をピークに、1～5歳が中心。

4 百日咳の患者が、村山地区で1名報告された。

5 結核の患者が、村山地区から1名(東南村山)、庄内地区から1名(飽海)、置賜地区から1名(東南置賜)報告された。

(12月8日現在 山形県衛生研究所)